

強度行動障がい支援の **たいせつ** なこと

－ 理解しておきたいこと －

- **目的** 本研修会では、鳥取県内の強度行動障がい児者支援の普及啓発を図ることを目的に、全国で行われている人材養成（強度行動障害支援者養成研修）や地域支援体制の取り組み（集中的支援）を踏まえ、3名の有識者・実践者から「強度行動障がい支援に求められる真価（たいせつなこと）」について講演いただき、強度行動障がい児者支援の意義について、みんなで考える機会とします。

■ **日時** 令和8年**11月28日**（土）午後1時30分-午後4時30分

■ **会場** 湯梨浜はごろも苑 はごろもホール（湯梨浜町上浅津407）

■ **申込** チラシの裏面QRコードまたは当センターホームページから「とっとり電子申請サービス」より、お申込みください。
〆切： 令和8年11月6日（金）正午

■ **費用・定員** 無料 定員90名

■ **お願い**

- ☒ 本研修の録音・録画・撮影・保存及び資料の二次利用やSNSへの投稿は禁止とします
- ☒ 当日の気象状況等によっては、中止又は研修内容を変更する場合があります



LIST OF TEACHERS



飯田 雅子 氏
IIDA MASAKO

（社福）かしの木会
くず葉学園 理事長

総合福祉センター「弘済学園」（神奈川県）に就職。1994年からは同園園長を務められた後、障害者施設や高齢者施設の施設長を歴任。また、わが国で初めて「強度行動障害」という用語が用いられた研究（1988-89年）の研究代表者を務められ、その後も強度行動障害に関する研究や後進の育成にご尽力されてきました。



高橋 潔 氏
TAKAHASHI KIYOSHI

（公財）鉄道弘済会
理事

総合福祉センター「弘済学園」に就職。2012年からは同園園長を務められ、現在は公益財団法人鉄道弘済会の理事や神奈川県秦野市社会福祉協議会会長としてご活躍。強度行動障害児支援の第一線で取り組まれた知見を活かし、厚生労働科学研究等の研究協力者として、行政施策に繋がる助言などを行われてきました。



北古賀 昌子 氏
KITAKOGA HISAKO

強度行動障がい親の会
クジラグループ 代表

2019年、障害理解と福祉に役立つサイト「てとて」を開設。強度行動障害がある長男との生活や思いなどが丁寧に綴られています。2025年、強度行動障がい親の会「クジラグループ」を設立。ご家族が「辛いよ」と言える場所と、必要な学びができる場所になっています。



てとて HP

1988年6月、厚生省障害福祉課長の浅野史郎氏が、母親からの一通の私信を受け取ります。その中には「家庭で昼夜逆転、粗暴、破壊、異食等といった行動が見られ、母一人ではとてもやれない、施設申し込みをしてもことわれ万策尽きている…」と記されていました。この手紙から、財団法人キリン記念財団助成研究「強度行動障害児（者）の行動改善及び処遇のあり方に関する研究」が開始され、大規模な全国調査や行政用語としての命名等が行われました。保護者の切実な思いと、関係者の真摯な思いで、時代が動いた瞬間です。

それから四半世紀が経ち、2013年度から「強度行動障害支援者養成研修」が開始され、全国的な人材養成が行われています。2023年度には、強度行動障がい児者支援の「標準的な支援」が示され、その実装と地域支援体制整備の実現に向け、「中核的人材」や「広域的支援人材」といった役職が、2024年度報酬改定で示されました。一部の先駆的・専門的な事業所の取り組みから、全国的な人材養成へ、そして都道府県単位での地域支援体制整備へと大きく変化していきました。

さて、強度行動障がい支援は決して1人ではできません。皆と協力し、構造化や機能分析、日々の記録などを活かし、コツコツと取り組んでいきます。先人の支援実践や研究成果が今の「標準的な支援」に繋がり、全国で同じ水準の支援が実践できるようになってきました。ただ、支援技法や知識は、あくまでも道具でしかありません。どこを見て、誰のために、それらを使うのが重要です。本研修では、支援技法や知識を十分に活かすためにも、強度行動障がい支援で「理解しておきたいこと」そして「たいせつなこと」について、皆で考える機会とすることを目的としています。

当日のプログラム：予定

時間		発表者（●＝質疑応答司会）
13:00	受付	
13:30	開会／挨拶	松田 啓生（エール 所長）
13:40	講演 1 強度行動障がい児者支援の人材養成で大切にしたいこと（仮）	高橋 潔 氏（公益財団法人鉄道弘済会）
15:00	講演 2 ご家族の思いと願い／支援者・地域に期待すること（仮）	北古賀 昌子 氏（親の会クジラグループ）
	休憩（15分）	
15:15	講演 3 強度行動障害支援の展望－誰のための支援かを考える－（仮）	飯田 雅子 氏（社会福祉法人かしの木会）
16:20	質疑応答 「色んな疑問を聞いてみよう！」	飯田 雅子 氏、高橋 潔 氏、北古賀 昌子 氏、松田 啓生、信原 和典 ●（エール）
16:20	閉会／挨拶	山崎 駿（鳥取県障がい福祉課長）

お申し込みの詳細：令和8年11月6日（金）正午 〆切

下記の項目で検索、または右のQRコードから「とっとり電子申請サービス」にてお申し込みください。

（申込フォーム）

エール 鳥取 普及啓発

×





- 申込受付通知メールが届かない場合、お手数ですが、下記『エール』までお問い合わせください。
- 手話通訳者等、何らかの配慮をご希望される方はお申し込み時にご入力ください。
- 本研修の録画・録音・撮影・複製および資料の二次利用、SNS等への投稿は固くお断りします。